

■おたる新幹線まちづくりアクションプラン（2次交通対策関係）の取組状況について

1 取組一覧

これまでに、観光型 MaaS 等の調査・研究のほか、新駅周辺の施設整備に関する要望・協議等、5つの取組を行った。

基本方針	項目	取組の概要	
1. 利便性の高い2次交通網の構築	(1)バス交通の充実	ア. 新駅と市内中心部を結ぶ専用シャトルバスの運行 イ. 現在の路線バスの活用 ウ. 新駅と朝里川温泉やスキー場を結ぶバス交通の検討 エ. 北後志地域等をつなぐ路線バスの活用 オ. 外国人観光客にも対応したバスの運行 カ. 持続可能な運行体制の構築	
	(2)タクシーサービスの充実	ア. IoTを活用した配車システムの導入 イ. 外国人観光客にも対応したタクシーサービスの充実 ウ. 乗合タクシーの検討	
	(3)レンタカーサービスの充実	ア. レンタカー事業者の誘致 イ. レンタカーによる周遊性の向上	
	(4)レンタサイクルの充実	ア. 可能性調査を踏まえたレンタサイクル拠点の設置 イ. 身軽になってサイクリングを楽しむことができるサービスの提供	
2. 実効性を高める基盤づくり	(1)ICTを活用した新たなモビリティサービスの提供	ア. 観光型MaaS等の新たなモビリティサービスの提供 イ. 交通・観光関連事業者のキャッシュレス決済の導入促進	→①
	(2)広域連携を強化する体制の構築	ア. 広域連携を強化する組織づくり	
	(3)新駅の交通結節点機能の向上	ア. 利便性の高い駅機能の確保 イ. 駅前広場等の整備	→② →③
	(4)移動円滑化の取組の推進	ア. バスの利便性向上の環境整備 イ. タクシーの利便性向上の環境整備 ウ. ユニバーサルデザイン等の導入の推進	
3. 公共交通の利用促進と充実の好循環	(1)情報発信の強化	ア. 積極的な情報発信・PR イ. 新駅に向かう案内・サインの設置 ウ. 外国人対応の強化	
	(2)公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ	ア. 身軽になって観光を楽しむことができるサービスの提供 イ. 新駅と倶知安の周遊性を高めるサービスの検討 ウ. クルーズ船等との連携 エ. 地域連携等による魅力的なサービスの提供 オ. 魅力ある車両の導入	
	(3)新駅周辺の魅力づくり	ア. 小樽のまちのイメージが伝わる駅舎や駅前デザインの検討 イ. 自然の豊かさや四季の移り変わりをを感じる景観形成 ウ. 新駅の立地特性を生かした魅力づくり	→④ →⑤
	(4)移住・定住の促進	ア. 新駅周辺における住宅の整備促進 イ. 新幹線通勤・通学者の利用増加に向けた取組 ウ. 交通事業者の人材確保を兼ねた移住・定住促進策	

▲ 2次交通対策の取組一覧（アクションプラン P.6）

2 取組状況

① 観光型 MaaS 等の新たなモビリティサービスの提供

- MaaS 等の研究（市） 【議題（4）「観光型 MaaS について」 資料⑥,⑦ 詳細説明】

- ・主に観光型 MaaS の事例調査
 - ➡「北海道 MaaS 推進研究会」に入会（令和 3 年 2 月）
同研究会が主催する WEB セミナーへの参加（令和 3 年度 2 回、令和 4 年度 2 回）
- ・実証実験に向けた検討
 - ➡ 観光型 MaaS の取組実績を有する NTT ドコモとの意見交換（令和 4 年度）
現在、本市での実証実験の実施イメージを検討中

② 利便性の高い駅機能の確保

- 駅施設整備に向けた取組（鉄道・運輸機構、市）

- ・鉄道・運輸機構への要望（※）
 - ➡外国人観光客や高齢者を含む全ての人に使いやすい駅となるよう、ユニバーサルデザインの導入や外国語表記の充実など要望

- 附帯施設整備に向けた取組（市）

- ・施設レイアウトの検討
 - ➡基本レイアウト案を親会に提示（令和 4 年 10 月） 参考資料①
実施設計に向けて、引き続き詳細を検討 >>>令和 5 年度に基本設計着手

③ 駅前広場等の整備

- 駅前広場整備に向けた取組（道、市）

- ・概略設計 ➡完了（レイアウト確定） 参考資料②
- ・都市計画変更手続き ➡令和 5 年度の決定（変更）に向けて、住民説明会等実施

- 駐車場整備に向けた取組（市）

- ・整備方針の検討
 - ➡戦略会議で検討を重ね、新駅利用促進に資する駐車場として平面+立体とする方針
この整備案について親会に提示予定（3 月末） >>>令和 5 年度に基本設計着手

④ 小樽のまちのイメージが伝わる駅舎や駅前デザインの検討

- 駅舎デザインに関する取組（鉄道・運輸機構、市）

- ・鉄道・運輸機構への要望
 - ➡駅舎デザインコンセプトを要望（※）
令和 5 年度に鉄道・運輸機構から駅舎デザイン 3 案提示され、そこから 1 案に絞り込む

- 周辺道路における良好な景観形成への取組（国、道、市）

- ・道路管理者への無電柱化の要望
 - ➡奥沢十字街～天神十字街（国道）、天神十字街～奥沢水源地（道道）

⑤ 新駅の立地特性を生かした魅力づくり

- 勝納川を活用した魅力づくりに関する取組（道、市）

- ・新駅周辺での親水機能の整備に向けた協議 ➡河川を管理する道と協議中

※ 駅舎デザイン検討部会からの提言を受け、本市から鉄道・運輸機構に提出した「北海道新幹線新小樽（仮称）駅 駅舎デザインに関する要望書」（令和 4 年 5 月）にて要望